

草の根・人間の安全保障無償資金協力

令和2年度「チクワワ県テレレ・ヘルスセンター建設計画」完工式
2022年8月23日



リボンカットを行う岩切大使



除幕を行う岩切大使



建設されたヘルスセンターを視察する岩切大使と出席者



来賓との集合写真



スピーチを行う岩切大使



スピーチを行うパレ保健省副大臣



スピーチを行うミア水衛生省大臣

8月23日（火）、チクワワ県ンガブ地区テレレ村において、草の根・人間の安全保障無償資金協力「チクワワ県テレレ・ヘルスセンター建設計画」完工式が行われ、式典には岩切大使をはじめイノック・パレ保健省副大臣、地元選出議員であるアビタ・ミア水・衛生省大臣も列席しました。

このプロジェクトでは、日本政府がマラウイ施主からの施し財団を通じて供与した90,503米ドル（当時のレートで約7.1千万マラウイクワチャ）を用いて、テレレ村に新たなヘルスセンターが建設されました。

式典で岩切大使は、コロナ禍でマラウイも含めた世界的な公衆衛生強化の必要性が明らかとなったことを引き合いに、アフリカ諸国へ対する日本の開発協力では、弾力性のある保健システムの構築が優先することを強調し、1993年から日本がアフリカ諸国の開発やビジネスのため主催しており、今年の8月に、チュニジアで開催予定のアフリカ開発会議（TICAD 8）へのマラウイの参加も紹介しました。

また、大使は地元選出の国会議員であり水・衛生省大臣であるミア氏に対して、不足するヘルスセンターの建設に向けた惜しみない努力に敬意を示すとともに、事業を完成に導いた被供与団体であるマラウイ施主からの施し財団に対して労いの言葉を贈りました。